

## 救急隊が脳卒中を疑い群馬県内 t-PA 常時施行可能 13 病院に救急搬送した患者を 対象にした救急隊活動の事後検証

### 1. 研究の対象

2019年1月の1ヶ月間に、救急隊が脳卒中を疑い t-PA 常時施行可能 13 病院に救急搬送された症例を対象にします。

### 2. 研究の目的・方法

- (1) 群馬県では脳卒中患者の治療成績向上のため、群馬脳卒中救急医療ネットワーク（以下 GSEN）と日本脳卒中協会（以下 JSA）群馬県支部が共同して、1. 人材養成：脳卒中に特化した標準的プログラムで構成された救急隊対象の PSLS (Prehospital Stroke Life Support) コースと病院職員対象の ISLS (Immediate Stroke Life Support) コースの継続開催、2. t-PA 施行可能病院の明確化、3. 市民啓蒙講演会の継続開催、4. 脳卒中地域連携パスの作成と実際の運用、など脳卒中救急医療体制整備の中心部隊として活動してきました。
- (2) 日本脳卒中学会と日本循環器学会は、超高齢社会を迎える我が国において、国民の健康寿命の延伸を図り、効率的で質の高い医療を実現する上での重要課題である脳卒中と循環器病対策を推進するため、関連 19 学会と協力して『脳卒中と循環器病克服 5 カ年計画』を策定し、平成 28 年 12 月にその結果を報告しています。
- (3) 厚生労働省は、脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方に関する検討会を開催し、その結果を平成 29 年 7 月に「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方について」として報告しています。
- (4) 最近の脳梗塞急性期治療法の進歩は著しく太い動脈が閉塞している患者に対する血栓回収術の有効性が証明されました。国際的にも、適切に選択された症例に実施される血栓回収術は、最終健常確認時間から 6～24 時間まで推奨され、日本でも脳卒中診療ガイドライン 2015 の追補 2019 に記載される予定になっています。
- (5) 昨年 12 月 10 日、第 197 回国会で「健康寿命の延伸などを図る為の脳卒中、心臓病その他循環器病に係る対策に関する基本法」（が可決・成立しました。その中で、「循環器病を発症した疑いがある者の搬送及び医療機関による受入れの迅速かつ適切な実施」、「循環器病を発症した疑いがある者の搬送及び医療機関による受入れの迅速かつ適切な実施を図るための体制の整備、救急救命士・救急隊員に対する研修の機会の確保等に係る施策」などが記載されています。

群馬県では、救急隊が脳の太い動脈が閉塞した患者を選択可能なスケールとして、日本医大の鈴木・木村らが開発し簡便かつ精度が高く権威のある国際誌にも掲載された ELVO スクリーンを GSEN で協議の結果採用し、救急隊の研修を始めています。

救急隊研修と受け入れ病院の体制整備の結果を、病院・救急隊・群馬県が三位一体となって検証してエビデンスを作ることにより、さらなる治療成績向上を図ることが研究の目的になります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

救急隊は搬送した傷病者の活動記録票から病院は入院した患者さんの診療録から必要な情報を抜き出して観察研究を行います。記入の時点から匿名化された情報として扱います。観察研究に使用する情報は通常の診療から抽出し、これ以外の情報は使用しません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究で得られた成果は、GSENに帰属します。研究の結果は、研究責任医師が学会発表等として公表します。なお、研究責任者以外の分担研究者が、研究で得られた成果を論文又は学会等で発表する場合は、研究責任者が協議のうえ取り決めます。

当該研究の実施については研究計画を研究対象者等に公益財団法人脳血管研究所美原記念病院ホームページ上に公開（オプトアウト）し、研究が実施又は継続されることについて、原則として、研究対象等が拒否できる機会を保障します。

### 5. 研究組織

- (1) 日本医科大学付属病院 脳神経内科
- (2) 群馬県内のt-PA常時施行可能病院
- (3) 群馬県内の11消防本部（局）
- (4) 群馬県消防保安課、医務課
- (5) 事務局を美原記念病院に置く
- (6) 研究責任者と研究分担者（順不同）

○ 谷崎 義生：美原記念病院 副院長 GSEN 救急研修ワーキンググループ（WG）長 JSA 群馬県支部副支部長 群馬県 MC 協議会検証医

鈴木 健太郎：日本医科大学付属病院 脳神経内科

木村 和美：日本医科大学付属病院 脳神経内科 教授

朝倉 健：前橋赤十字病院 副院長 GSEN 代表世話人 JSA 群馬県支部副支部長

甲賀 英明：公立藤岡総合病院 副院長 GSEN t-PA 実施医療機関調査 WG 長

栗原 秀行：高崎総合医療センター 副院長 GSEN 脳卒中地域連携パス WG 長

松本 正弘：公立館林厚生病院 脳神経外科 GSEN 市民啓蒙 WG 長 JSA 群馬県支部副支部長 群馬県 MC 協議会検証医

大嶋 清宏：群馬大学医学部附属病院 救急医学 教授

清水 立矢：群馬大学医学部附属病院 脳神経外科

宮本 直子：老年病研究所附属病院 脳神経外科

大森 重宏：黒沢病院 副院長

荒井 孝司：伊勢崎佐波医師会病院 脳神経外科

櫻井 篤志：伊勢崎市民病院 脳神経内科

石原 淳治：桐生厚生総合病院 脳神経外科  
矢尾板 裕之：太田記念病院 脳神経外科  
秋枝 一基：太田記念病院 救急科  
赤尾 法彦：沼田脳神経外科循環器科病院 院長  
美原 盤：美原記念病院 院長 JSA 群馬県支部支部長  
神澤 孝夫：美原記念病院 脳卒中部門長 JSA 群馬県支部副支部長  
群馬県消防保安課  
群馬県医務課  
群馬県消防長会警防担当課長会議 救急部会  
前橋市消防局 警防課  
高崎市等広域消防局 警防課  
桐生市消防本部 警防課  
伊勢崎市消防本部 警防課  
太田市消防本部 警防課  
利根沼田広域消防本部 警防課  
館林地区消防組合消防本部 警防課  
渋川広域消防本部 警防課  
多野藤岡広域消防本部 警防課  
富岡甘楽広域消防本部 警防課  
吾妻広域消防本部 警防課

(○印：研究責任者)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 高崎総合医療センター 脳神経外科 副院長 栗原 秀行  
TEL：027-322-5901(代) FAX：027-327-1826(代)

研究代表者：公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 副院長 谷崎 義生  
〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 366 番地  
Tel：0270-24-3355 FAX：0270-24-3359  
E-メールアドレス：[mmh-kenkyu@mihara-ibbv.jp](mailto:mmh-kenkyu@mihara-ibbv.jp)